

所在地:	神奈川県 大和市 下鶴間 1612-1		
敷地面積:	26811㎡	延床面積:	22277㎡
設立:	1970年10月	従業員数:	413名
ISO14001 取得:	1997年4月	ISO14001 最新更新:	2009年7月
主要製品:	CD12cm、DVD、BD		
環境コミュニケーション:	08年度		
情報開示:	2件	工場見学:	0名
問合せ:	管理部 総務グループ	地域貢献活動:	2件
		TEL	046-275-1113



ごあいさつ

当事業所は神奈川県ほぼ中央に位置し、丹沢山系にも近く、豊富な地下水に恵まれております。又、住居地域に囲まれ、静かな環境化にあります。1970年にステレオシステム工場として操業を開始し、以降1976年にはレコード工場、1984年にはCD工場と変遷し、その後、現在に至っております。1997年にISO14001を取得し、主に省エネルギー(電力使用量)と廃棄物の削減、グリーン購買の推進を方針とした改善活動を推進してまいりました。



環境責任者

杉野 健一

2008年度の環境重点テーマの取組み

・地道な省エネ活動の成果で、電力量使用量の大幅な削減が出来ました。又、CO2排出量7912tで、こちらも目標値を達成しました。

方針	目標	成果
電力使用量の削減	原単位使用量0.280(kWh/枚)	原単位使用量0.225kWh/枚で目標値を達成しました。
廃棄物の削減	原単位排出量1.65(g/枚)	原単位排出量1.72g/枚。大和工場・林間工場2拠点から林間工場に工場を統合した事で目標値未達。
グリーン購買の推進	化学物質管理指針 対応メーカー選定・登録	3月末までに対応メーカー14社の選定及び、登録を完了しました。

製品・環境配慮ポイントの紹介

製品名称：
12cm CD (DVD)
トルケース入



製品名称：
12cm CD (DVD)
ジュエルケース入



製品名称：
ブルーレイ (BD)
トルケース入



日本標準産業分類：情報記録物製造業(分類番号 3296)

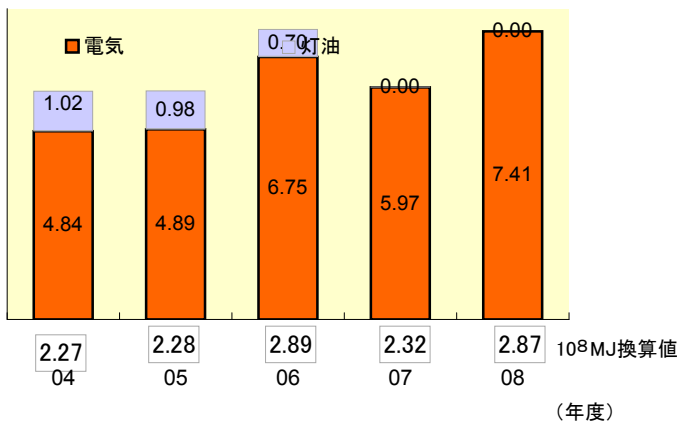
事業概要

音楽・映像・データ(ROM)の製作会社様から記録ディスク(CD・DVD・BD)の発注を受け、先ず金型となる金属原盤を起こした後、ポリカーボネートの円盤にデジタル信号ビットを射出成形し、その表面にレーザー反射膜をスパッタした上で、CDの場合は樹脂保護膜のコーティングとレーベル印刷をして(DVD・BDの場合は基盤の張合わせ工程が加わります)、ディスクが完成します。このディスクに、お客様からお預かりしたカード・ブックなどの支給品をケースに納め、パッケージして配送センターを通じてレコード店様に納品することが、一般的な流通経路となっております。

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2008:2008年4月1日～2009年3月31日

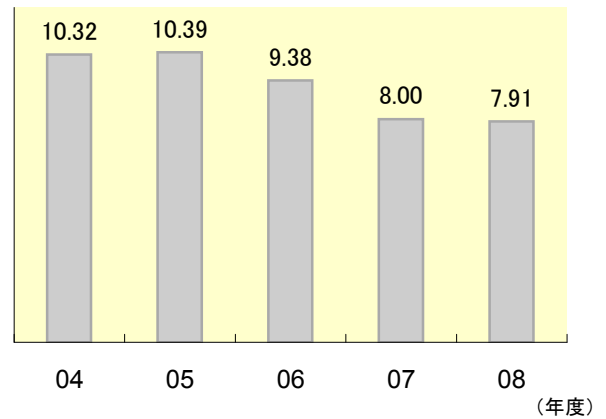
エネルギー使用量

単位：千kl



CO2排出量

単位：千t

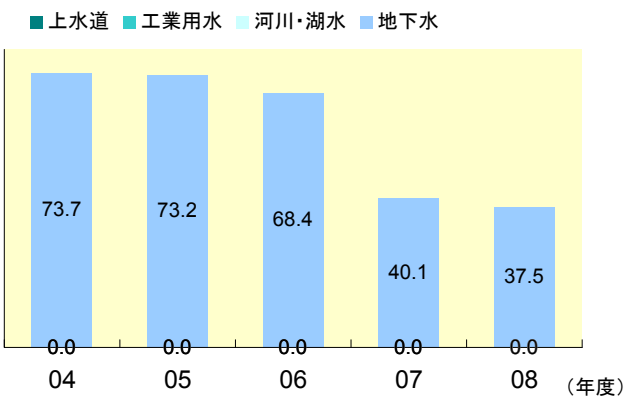


算出基準について

電気は電事連公表値、2008年度は0.417/kwh、LPG3.02/kg、灯油2.51/Lを使用しています。

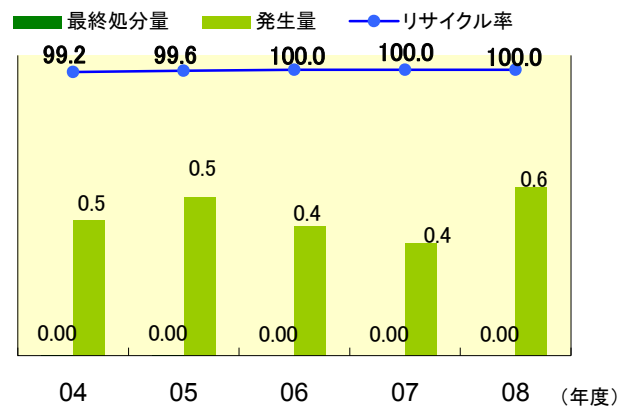
水の使用量

単位：千m³



産業廃棄物・有価発生物

単位：千t、%

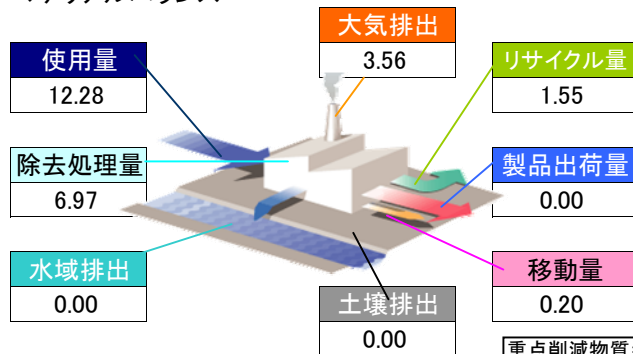


化学物質

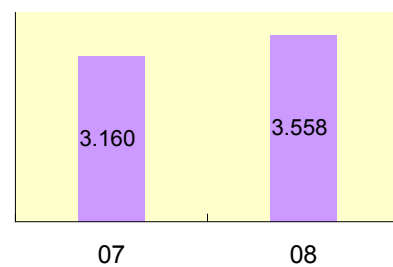
単位：t

マテリアルバランス

08年度



重点削減物質 排出・移動量



重点削減物質=PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を指定。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群) 尚、工場では化学物質管理指針を定め管理をしています。

環境パフォーマンスデータの特記事項

報告すべき事項はございません

環境法令等の順法状況 08年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	N/A					
NOx	ppm	N/A					
ばいじん	g/Nm3	N/A					

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A(河川排出なし)			0.00		
					0.00		
					0.00		
BOD	mg/l	N/A			0.00		
					0.00		
					0.00		
窒素	mg/l	N/A			0.00		
					0.00		
					0.00		
リン	mg/l	N/A			0.00		
					0.00		
					0.00		

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	65.00	53.20	49.00	50.00	12
		夜 敷地境界	50.00	50.00	49.00	50.00	12
振動	dB	昼 敷地境界	65.00	48.40	39.00	47.00	2
		夜					

法令規制値：法または条例および協定の規制する値

N/A：法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

環境方針

＜基本理念＞

ビクタークリエイティブメディア(株)は経営基本方針スローガンのもと、すべての事業活動において「地球環境の保全」に取り組み、国際社会から信頼される「良き企業市民」として、持続的発展が可能な社会の実現に向かって努力します。

＜方針＞

広く環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、「音楽、映像、データの記録済みディスク」を主とした事業活動において、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染予防活動を以下のように推進します。

1. 製品及びサービスを含む事業活動より生ずる環境影響を常に考慮し、環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、環境負荷の継続的な低減を図ります。
2. 環境に関する法的要求事項及び林間工場が同意するその他の要求事項を順守し、必要に応じ自主基準を設定し、汚染の予防に努めると共に、管理の質を高めます。
3. 環境保全活動を推進するための組織・体制を常に整備し、環境監査を実施することにより、環境保全活動の継続的な改善を図ります。
4. 従業員の環境に関する知識を高めるとともに、当社のために働く全ての人に方針を周知徹底し、環境の改善に取り組めます。
5. 当社の事業活動に協力を得ている取引先とも、可能な限り協力して環境改善及び汚染の防止を推進します。
6. 以下の項目を環境目的・目標に設定し、継続的改善活動を重点的に取り組みます。
 - 1) 地球温暖化防止等のため、使用電力の削減。
 - 2) 廃プラスチック、古紙、金属屑などの廃棄物の削減とリサイクル。
 - 3) 生産資材のグリーン購買の推進。

環境負荷削減の取り組み事例

ゴミ分別の徹底

リサイクルできるように徹底した分別を各職場で行っており、ほぼ100%のリサイクルを達成しています。



観測井戸の設置

地下水への汚染を監視する観測井戸を設け定期的に測定しており、異常はありません。



バイオマス ケースの導入

このケースは古古米とポリプロピレンを混ぜて作ったペレットから生産されたプラスチックを使った物です。



環境コミュニケーション事例

「神奈川 eco ネットワーク」への登録（平成16年1月21日）

CO2（二酸化炭素）やSPM（浮遊粒子状物質）削減のため、神奈川県内企業の自主的取り組みをインターネット登録し、公表・情報交換するネットワークですが、電力・灯油・廃棄物削減等の数値目標、社会貢献活動などを登録しております。

「大和市 環境部 ホームページ」への登録（平成16年9月15日）

市内の事業者の環境保全活動を支援するため、事業所間の情報交換と、行政からのイベントや動向の情報の発信が予定されております。

「その他 情報公開」

周辺住民及び企業の皆様にご迷惑をお掛けしないよう環境保全に取り組んでおります。環境情報が必要な場合は公開いたしますので、ご遠慮なくお申し付け下さい。



クリーン作戦の実施

6月の環境月間を始めとして適時に、隣接の日本ビクター（株）大和工場と共働で、周辺道路の植栽手入れ（雑草取り）や空き缶・ゴミ拾い等の清掃を行い、さわやかな環境へのお手伝いをさせて頂いております。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

緊急事態に対応するために規程を定めています。また、地球環境に与える負荷が高い設備・作業を特定し、その設備・作業に対しては、緊急事態対応手順を作成しています。年度初めに緊急事態訓練計画を立て、これらの手順を基に緊急事態訓練を年1回実施するとともに、随時手順の見直しを行っています。緊急事態が発生しないように日々管理していますが、このように、万が一発生した場合の対応として最善、細心の備えを心掛けています。